

第68回全日本大学野球選手権大会  
6月10日～16日 東京ドーム・明治神宮野球場

# SHODAI SPORTS FREE



闘え!商大

# リーグ戦 全勝優勝



# 全日本 ベスト



11  
大西

18  
橋本

8

### 硬式野球部

春季リーグ戦で2季ぶり18回目の完全優勝を成し遂げた大商大は、またも関六王者に輝いた。3年連続10回目の出場となる全日本大学野球選手権は、笹治主将の選手宣誓から幕を開けた。1回戦、2回戦は共に接戦を制したが、準々決勝で惜しくも敗れベスト8で幕を閉じた。秋こそは神宮大会で優勝し、大学野球日本一を果してほしい!

### 全勝優勝

4月6日から始まった関西六大学野球春季リーグ戦。昨年の秋に史上初の5連覇をかけて臨んだが、京都産業大学に直接対決で敗れてしまい、達成できなかった。その悔しさがあり、新チームでは試合に負けた10月14日を忘れないよう帽子の裏に書いた。チャレンジャー精神で足元を見直して再度王者になるという気持ちで挑んだ」と主将・笹治健汰(経営4・近江)が振り返った。結果今季は、最終節の京都産業大戦の前に優勝を決め、さらに全勝優勝を見事に成し遂げた。

### 第1・2戦 全日本

リーグ戦優勝により全日本大学野球選手権へ3年連続10回目の出場を決めた大商大。初戦の相手は日本文理大学。大商大は、1回に先制されたが2回以降エース・大西広樹(公共経営4・大商大)が丁寧な投球で追加点を許さず、味方の逆転につなげた。結果、大西

### 準々決勝

準々決勝の相手は東

は4安打1失点で完投勝利を飾り、初戦を2-1で突破した。第1戦を終えて大西は「全日本の初戦だったのでしっかりと勝ち、チームの流れを作れた」と語った。

2回戦では昨年4強入りした九州産業大学と対戦。大商大は1回、四球と犠打で1死2塁とし、この試合で3番に抜てきされた町田優太(公共経営3・神戸国際大学付属)の左前打で1、3塁と好機を広げ、続く4番・小野寺暖(商4・京都翔英)の犠飛で先制した。2回は2死3塁で9番・植田匡哉(経済4・汎愛)が中前適時打を放ち2点目を加えた。この日先発の左腕・橋本侑樹(公共経営4・大垣日本大学)が安定した投球を見せ、2試合連続で1点差の接戦を制し、4年ぶりの8強進出を果たした。試合を終えて橋本は、「チームが勝てるピッチングをして、絶対に負けないという気持ちで投げた」と力強く語った。

「関西六大学野球春季リーグ戦」	
優勝(2季ぶり18回目(旧リーグを含む))	小野寺 暖(商4・京都翔英)
最優秀選手賞	大西 広樹(公共経営4・大商大)
最優秀投手賞	小野寺 暖(商4・京都翔英)
首位打者	小野寺 暖(商4・京都翔英)
ベストナイン(捕手)	岡澤 智基(商3・智辯学園)
ベストナイン(三塁手)	湯口 郁実(公共経営3・大垣日本大学)
ベストナイン(外野手)	笹治 健汰(経営4・近江)
ベストナイン(外野手)	小野寺 暖(商4・京都翔英)
ベストナイン(外野手)	植田 匡哉(経済4・汎愛)
担当記者クラブ賞	大西 広樹(公共経営4・大商大)
特別賞 大学通算20勝達成	大西 広樹(公共経営4・大商大)
平古場賞(新人賞)	花村 凌(公共2・神戸国際大学附属)
平古場賞(新人賞)	福元 悠真(商2・智辯学園)

「第68回全日本大学野球選手権大会」 ベスト8  
「第26回大学野球関西オールスター 5リーグ対抗戦」  
3位 関西六大学野球連盟選抜チーム



# 笹治

大会開幕前日の9日に明治神宮会館で開会式が行われ、出場27大学が一堂に顔を揃えた。開会式では27大学の主将が決意表明をした後、選手宣誓が行われた。今大会では大商大主将の笹治健汰(経営4・近江)が関西六大学連盟代表として選手宣誓という大役を力強くやり遂げた。

宣誓の全文は以下のとおり。

「宣誓。令和元年という新しい時代を迎え、

### 第68回全日本 大学野球選手権大会開会式

第23号	
4面	1面
ボクシング部	硬式野球部
ソフトテニス部	ウエイトリフティング部
3面	2面
空手道部	サッカー部
他	準硬式野球部
	フィールドホッケー部
	バレーボール部
	他

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校

# 春季リーグ戦2019

# 一挙プレイバック

## 後期へ巻き返しを期待



第97回関西学生サッカーリーグ(前期)  
4月7日～6月2日 大商大第1グラウンド他

### 2部Aリーグ前期

### 8位

<4勝4敗3分>

阪神六大学準硬式野球部は、前期は4勝4敗3分という悔しい結果となった。このままの勢いで勝ち進んでいきたい大商大だったが、第3節の大阪教育大学との試合、1-1の同点で迎えた後半80分にゴールを決められてしまい、1-2で敗北する。続く第4節の大阪大学との一戦は激しい戦いになった。先制点をあげるも相手の攻撃を抑えることができず、3点を失い、前半を2-3で折り返した。逆転を誓い、挑んだ後半69分、岡村修哉(経営)が初得点を決め、同点に追いついた。その後、何度も相手ゴールに迫るも

両者譲らず、3-3と引き分けに終わった。大事な一戦で勝ち切ることができず、前期リーグ戦は4勝4敗3分、8位という悔しい結果となった。

主将の平田英明(公共)は「前期は勝ち切れない試合が続いたが、課題が見つかり、最終戦に近づいていくにつれて少しずつチームの形ができてきた。後期では勝ち続け、1部昇格に向けてチーム一丸となって頑張りたい」と語った。後期の巻き返しを期待し、昨年あと一歩のところでとどかなかった1部昇格をぜひとも成し遂げてほしい。

文/安井詩織(公共)・北摂三田

阪神六大学準硬式野球部春季リーグ戦  
3/3(日)～4/13(土) 久宝寺緑地公園野球場他



## 次こそ全国へ

### 春季リーグ戦

### 8勝2敗2分

「阪神六大学準硬式野球部春季リーグ戦」準優勝  
個人賞  
ベストナイン(一塁手) 北坂 祐磨(経済4・明德義塾)  
ベストナイン(外野手) 松山 豪大(公共2・立正大学湘南)  
ベストナイン(指名打者) 竹田 後冬(商2・立正大学湘南)

# 準V



関西大学バレーボール連盟男子春季リーグ戦  
4月7日～5月19日 近畿大学記念会館他

## 今後の活躍に期待

### 春季リーグ戦

### 男子1部

### 11位

<3勝8敗>

初戦宿敵の関西大学人間健康学部との試合を勝利し勢いを付けたかったが、続く阪南大学に2-15と敗北し、3戦目大阪市立大学に引き分けとした。続く大阪工業大学に白星とした大商大は調子を取り戻し、3連勝し、今大会2度目の宿敵関西大学人間健康学部にも勝利をした。しかし、8-4と敗北し、気持ちを切り替え、8戦目から3連勝とした。11戦目を引き分

け、12戦目を黒星とし大商大は惜しくも2位に終わり、宿敵関西大学人間健康学部がリーグ優勝を果たした。主将の北坂祐磨(経済4・明德義塾)は「全員で戦った中で、結果としては悔しい結果だったが、悔いは残っていない」と語った。来季こそ全国大会出場を果たしてほしい。

文/白石雄暉(経済)・星翔

関西学生ホッケー春季リーグ男子3部、近畿大学のホッケーサークルとの合同チームで挑んだ大商大だったが、初戦で摂南大学に2-15で敗北し、勢いを作れず、屈辱の全敗で5位という悔しい結果に終わった。来季こそ3部で優勝し、2部昇格を期待する。



## バレーボール部

### 春季リーグ戦

### 男子3部

### 5位

<0勝4敗>

関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦男子1部、昨年の春季リーグでは初戦からベースをつかめず9位と下位に沈んだ大商大。新体制となり初めてのリーグ戦で今年こそ上位へと目指す大商大は、初戦の同志社大学を相手に自分たちの力がどれだけ通用するのかと期待と不安が生じるなか、盛り上がる展開も多くあり流れの波にも乗ることができ、3-0のストレートで勝利した。しかし、初戦の出だしは良かったもののその勢いそのまま勝ち進むことができず、今大会1位の龍谷大学を相手にフルセットまでもつ

れたが惜敗し、最終的に3勝8敗と悔しい結果となり11位に終わった。新体制で挑んだ今回のリーグ戦では思い描く結果とはならなかったが、得たものも多かった。チームの課題が毎回多く見つかるリーグ戦の中で今回見つかった新たな課題をこれから修正し秋季リーグ戦に向け、さらに実力をつけて次こそ上位への浮上を目指す。また、今大会ではスタメンとして起用された1年生2人が注目されており、チームにどのような変化をもたらすか今後の活躍に期待したい。

文/濃添晴彦(経営)・大阪ビジネスフロンティア



第58回関西学生ボウリング春季個人リーグ戦  
4月14日～6月23日 キョーイチボウリング宇治他

## 春季リーグ戦

### 男子3部

### 3位

<3勝2敗>

# V

関西学生卓球春季リーグ戦3部リーグにて2部昇格を目標に挑んだ大商大は初戦3-2、2戦目を3-1と順当に勝利したが、惜しくも3戦目を2-3で敗北した。続く4戦目を3-0で圧勝し、最終戦の5戦目を0-3と完敗した。5戦を3勝とした大商大は順位を6チーム中3位で終えた。次は全勝して2部に昇格してほしい。

文/船田瑞樹(公共)・和歌山商業



関西学生卓球春季リーグ戦  
4月27日～5月12日 いきいきらんど交野他

## 卓球部

関西学生卓球春季リーグ戦3部リーグにて2部昇格を目標に挑んだ大商大は初戦3-2、2戦目を3-1と順当に勝利したが、惜しくも3戦目を2-3で敗北した。続く4戦目を3-0で圧勝し、最終戦の5戦目を0-3と完敗した。5戦を3勝とした大商大は順位を6チーム中3位で終えた。次は全勝して2部に昇格してほしい。

文/船田瑞樹(公共)・和歌山商業

その他のクラブリーグ戦結果

- 硬式野球部は、1面掲載
- ソフトテニス部とボクシング部は、4面掲載

Twitterアカウントフォローしてね  
大阪商業大学体育会本部  
@Taiikukaihonbu

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校

空手道部

4月に兵庫県立総合体育館にて行われた第53回関西学生空手道個人選手権大会に、大商大から10名の選手が出場した。その中で最も活躍したのは、男子組手競技67kg級の主将・山下大幹(経済4)だ。昨年の大会ではベスト8という結果だったが、さらに順位を上げ

を進めた。前大会の優勝者である中野大輝選手(近畿大学)との対戦は両者一歩も譲らない接戦になった。しかし、激しい攻防の末、足払いを受けてしまい、相手にポイントを取られてしまう。そこから巻き返しを試みたが、惜しくも敗北した。悔しい結果となったが、3位という素晴らしい成績で幕を閉じた。

関西学生 3位 山下



第53回関西学生空手道個人選手権大会 4月29日 兵庫県立総合体育館

次こそ頂点へ

男子個人組手

山下は主将として見合った結果を残すため頑張ったが、最終試合は完敗し、実力不足を痛感した。悔しさを振り払って、今年が最後の年なので、今までよりいい成績を残せるように頑張りたい。また、チーム全体が実力をつけ、団体でも優勝を目指したいこと(北)

ボウリング部

黒瀬心

①経営1 ②尼崎市立尼崎双星高等学校③なし④今までなじみのない部活で魅力を感じたので入部しました。⑤ピアノを弾くこと⑥ハイスコア(250点)を取りたいです。



硬式庭球部

山中優香

①公共1 ②相愛高等学校(大阪市)③3年・なし④見学や体験に参加したとき、先輩が丁寧に教えてくださり、部活の雰囲気も良かったので入部を決めました。⑤音楽鑑賞 ⑥1つでも多くゲームを取り、試合で勝つこと



合気道部

長谷紫乃

①経営1 ②樟南高等学校(鹿児島市)③中学3年の冬から、高2の春に合気会にて初段取得・なし④高校で3年間合気道をしていて、先生から商大に合気道部があると勧められていた。⑤読書⑥大会で入賞



女子新入部員

①学科②出身高校③経歴(入部したスポーツの・戦歴)④入部理由⑤趣味⑥目標

この春、入部した女子部員を紹介します。今後の活躍を期待します!

ウェイトリフティング部

佐川未来

①公共1 ②徳島県立板野高等学校③高校に入ってから、第29回四国高等学校ウェイトリフティング競技選手権大会58kg級2位④筋肉をつけたかった。痩せると思った。⑤スニーカー集め⑥全国大会入賞



弓岡郁菜子

①公共1 ②兵庫県立須磨友が丘高等学校③高校に入ってから、第56回兵庫県高等学校新人ウェイトリフティング競技選手権大会58kg級3位④新しいことを始めたかったから。⑤ラーメン店巡り⑥全国大会入賞

How much? Ranking 高額ランキングベスト3 1 バスケットボール部 移動式バスケットゴール(対) ¥8,480,000 2 フィールドホッケー部 フィールドホッケーゴール(対) ¥550,000 3 ライフル射撃部 エアライフル ¥400,000

他にも... ウェイトリフティング部 シャフトのみ ¥150,000 ボクシング部 グローブ ¥20,000 剣道部 剣道具一式 ¥50,000 どれも高額なものばかりです。大切に使いましょう!!!

その他のクラブ 主な大会結果 (2019年4月1日~6月30日) 合気道部、アメリカンフットボール部、カヌー部、剣道部、サッカー部、柔道部、水上競技部、卓球部

日本拳法部、バスケットボール部、陸上競技部、バレーボール部、ライフル射撃部

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校

# 全日本学生V

(男子大学新記録 55kg級スナッチ)

## 大学新記録樹立!

「第65回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」  
4/26(金)～28(日) はびきのコロセアム



55kg級  
東野

73kg級  
一瀬

**ウエイトリフティング部**  
4月26日はびきのコロセアム(羽曳野市)で第65回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会が行われた。初日55kg級で東野凌大(公共経営4・徳島科学技術)は、1回目のスナッチの試技で105kgを成功させ、他の選手との力の差を見せつけた。続いて2回目でも110kgを持ち上げ、見事大学記録を塗り替えた。クリーン&ジャークにおいても余裕をもって試技ができ優勝を成し遂げた。全日本を終えて東野は、「この大会で新記録を目標にして達成することができた。十分満足できる結果とは思わないが、目標を達成できたことは良かった」と語り、今後は「けがと向き合い、自分自身の大学記録を1kgずつ上げていく」と目標を語った。

続いて73kg級では、主将の一瀬(経済4・星槎国際)がスナッチベスト111kgと15人中10位の思わしくない結果だったが、クリーン&ジャークでは、3回目の試技で157kgを上げることに成功し、トータルで3位に入賞し、スナッチでの失敗を取り戻した。全日本を終えた一瀬は、「スナッチで調子が悪かったが、クリーン&ジャークで巻き返すことに成功し、自分のなかですべて自信になった」と答え、今後の目標は、「個人競技でもあるが、チーム競技でもあり、今回出場できなかった選手もたくさんいるので、その選手も一緒に戦えるようなチームをつくっていく」と主将としての目標を語った。

チーム競技でもあり、今回出場できなかった選手もたくさんいるので、その選手も一緒に戦えるようなチームをつくっていく」と主将としての目標を語った。

「第35回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会」	55kg級 優勝 東野 凌大(公共経営4・徳島科学技術)
81kg級 優勝 一瀬 駿(経済4・星槎国際)	89kg級 準優勝 吉川 敦啓(公共2・須磨友が丘)
個人賞 最優秀選手賞 東野 凌大(公共経営4・徳島科学技術)	
「大阪府民体育大会兼第74回国民体育大会大阪府代表選考会」	男子96kg級 優勝 塚原 湧斗(経済4・大阪産業大学附属)
「第65回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」	55kg級 優勝 東野 凌大(公共経営4・徳島科学技術)
73kg級 3位 一瀬 駿(経済4・星槎国際)	個人賞 最優秀選手賞 東野 凌大(公共経営4・徳島科学技術)
「第58回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会」	団体1部 4位 東野 凌大(公共経営4・徳島科学技術)
55kg級 準優勝 山口 颯太(経済1・大阪産業大学附属)	55kg級 3位 吉崎 優太郎(公共経営4・明桜館)
61kg級 準優勝 一瀬 駿(経済4・星槎国際)	73kg級 3位 塚原 湧斗(経済4・大阪産業大学附属)
96kg級 3位 塚原 湧斗(経済4・大阪産業大学附属)	
「第18回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会」	団体 7位 坂東 友香(公共経営3・板野)
55kg級 9位 弓岡 郁菜子(公共1・須磨友が丘)	59kg級 6位 佐川 未来(公共1・板野)
64kg級 4位	

第73回関西学生ボクシングリーグ戦  
5月12日～6月23日 龍谷大学深草キャンパスボクシング場他

**目指せ「日本一」**

「4勝1敗」

## リーグ戦1部

**ボクシング部**  
第73回関西学生ボクシングリーグ戦、昨年度4位だった大商大は今年リーグは大きく飛躍したと燃えていた。初戦の同志社大戦は6勝3敗で順調な滑り出しを見せたが、次の芦屋大戦では4勝0敗と僅差で負けてしまった。そして、優勝するためにには負けられない近大戦、昨年度優勝校に部員一丸となり全力で挑んだ。主将の池側純(公共経営・興國)は「1番面白い試合だったと振り返る。結果は5勝4敗で見事勝利を収めた。勢いに乗った大商大は続く関西大戦、関西学院大戦を完勝し5年ぶり4度目のリーグ戦優勝を果たした。さらに、個人部門では細野勝梧(公共2・札幌工業が階級賞、イトウエルトナー級)を受賞。最優秀選手賞を受賞した中谷七都(経営2・京都廣学館)はこの試合を「自分の階級で落としつら敵しいので、全勝する気持ちで挑んだ」と語った。敢闘賞を受賞した池側は「まだまだ物足りない部分はあり、今後の練習に向けてさらなる飛躍を期待したい。」と次の目標を話してくれ、和歌山商業)。



関西学生ソフトテニス春季リーグ戦  
5月3日・4日 マリンテニスパーク北村

「大阪府民体育大会兼第74回国民体育大会大阪府選考会」	成年男子ライトフライ級 準優勝 藤田 龍馬(公共2・興國)
成年男子フライ級 準優勝 福田 陸人(商3・神戸星城)	成年男子バンタム級 優勝 池側 純(公共経営4・興國)
成年男子バンタム級 準優勝 石川 竜成(公共2・浪速)	成年男子ライト級 準優勝 山原 武人(公共2・興國)
「第73回関西学生ボクシングリーグ戦」	1部 優勝(4勝1敗) 中谷 七都(経営2・京都廣学館)
最優秀選手賞 池側 純(公共経営4・興國)	敢闘賞 細野 勝梧(公共2・札幌工業)
階級賞(ライトウェルター級)	

「関西学生ソフトテニスシングルス選手権大会」	男子の部 5回戦敗退 山田 晃市(経済3・乙訓)
「関西学生ソフトテニス選手権大会(関西ダブルス)」	兼第74回三笠宮賞全日本学生ソフトテニス選手権大会予選会
男子の部 5回戦敗退 水谷 幸一(公共2・綾羽)・山田 晃市(経済3・乙訓)	
「西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」	男子の部 1回戦敗
「西日本学生ソフトテニス選手権大会」	男子の部 4回戦敗退 藤田 凌羽(経営3・西城陽)・寺本 一裕(経営2・紫野)
3回戦敗退 三崎 恒矢(公共経営4・高瀬)・平野 瑠衣(公共1・広島翔洋)	3回戦敗退 小川 祐也(公共2・和歌山北)・蒲生 将由(経済1・都城商業)
「西日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会」	男子の部 2回戦敗退 山田 晃市(経済3・乙訓)

**ソフトテニス部**  
関西学生ソフトテニス春季リーグ戦男子2部で全勝優勝を果たした。この結果に主将の牧谷太我(公共経営4・岐阜商業)は監督やコーチの手厚い指導で、選手たちにも火が付き、今までよりも一層練習に力を入れていることができたこと、力強く答えた。

初戦、大阪成蹊大学との試合では、格上である相手に対し、流れをつかみ有利な試合展開をすることができ、見事4-1で勝利を収めた。2、3試合目は、両者一歩も譲らない展開が続くも、3-2で勝利をつかんだ。

2日目、4試合目の大阪教育大学との試合は順調に勝利。そして、同日の最終戦、優勝決定戦となる近畿大学との一戦は苦戦を強いられると思われたものの、2番目の門田陸人(公共1・広島翔洋)・山田晃市(経済3・乙訓)のペアが思い切ったプレーで勝利した。この結果により、他選手も後押しされ、4-1と見事に強豪校を打破することができ、優勝の喜びをチーム全体で分かち合った。

しかし、同日に行われた1部2部の入れ替え戦では、思っていたよりも火が付き、0-3で敗れてしまふ結果となった。「強かった。1部とのレベルの違いを感じた」と牧谷は悔しさをにじませている。

入れ替え戦にまで持ち込める実力となっている大商大は、1部昇格の夢を諦めず、幾たびの悔しさを糧に、秋季リーグ戦こそは有終の美を飾ってほしいと願っている。

文/大崎恒太郎(公共経営3・大商大)

「5勝0敗」

## 春季リーグ戦 男子2部

ソフトテニス部

の最終戦、優勝決定戦となる近畿大学との一戦は苦戦を強いられると思われたものの、2番目の門田陸人(公共1・広島翔洋)・山田晃市(経済3・乙訓)のペアが思い切ったプレーで勝利した。この結果により、他選手も後押しされ、4-1と見事に強豪校を打破することができ、優勝の喜びをチーム全体で分かち合った。

SHODAI SPORTS 商大スポーツ

発行 大阪商業大学 学生生活課 課外活動支援室

印刷 共同精版印刷株式会社

**我楽多**

今号で広報部長になってから4度目の商大スポーツとなりました。新入部員も増えたなかで、部長としての部員の手本となるように取り組んでみることに。以前は自身の記事に対して、余裕をもって書くことができなかったが、2回生が主導となって動いてくれると感じました。これからも皆さまに記事を書いて、クラブ生の活躍を指し、クラブ生の活躍を知ってもらえるように取り組んでいきたいと思えます。(大崎)

▼広報としての初めての仕事で少し苦労はしたけれど、先輩の手本や協力もあり何とか仕事をこなすことができました。また、取材もさせてもらって普段聞けない貴重な話も聞くことができました。経験になったので今後も頑張っていきたいです。(濃濃)

▼初めて新聞を作った新聞を作るには、とても時間がかかるんだと思いましたが、新聞は言葉づかいや言い方にも気を付けているので、なかなかいい感じだったので、とても楽しかったです。これから、もっといい新聞を書けるように頑張りたいです。(東野)

▼今回、新聞の記事を初めて書きました。ウエイトリフティングというスポーツに初めて触れてみているところでも、学生が活躍しているのを感じました。先輩に手伝ってもらいながら、記事が書けました。次は一人で頑張りたいです。(山路)

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校